

事務事業名					担当	管理係	
政策名					電話番号	0285-83-7731	
施策名					<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（平成24年度～平成25年度）	
法令根拠	真岡市民会館及び真岡市二宮文化会館条例、真岡市民会館及び真岡市二宮文化会館運営審議会設置規則						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4社会教育費	5市民会館費			
事業概要	東日本大震災で大きな被害を受けた市民会館の大規模改修事業 事業内容 震災復旧工事、耐震改修工事、外壁等改修工事、通路・梁屋等増築工事、舞台設備改修工事、空調・給排水設備改修工事 平成24年度・平成25年度継続事業 総事業費16億円						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 26年度実績 市民会館の震災復旧工事、市民会館・ピロティの耐震改修工事及び、外壁等改修工事、通路・梁屋等増築工事、舞台設備改修工事、空調・給排水設備改修工事、外構工事を実施し、平成26年3月に完了した。 27年度計画	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア	設計会議・工事会議の回数			34	48		
	イ	再整備事業進捗率			6.9	100		
	ウ							
	エ							
	オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民会館	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア	市民会館の建築面積			3966	3966		
	イ	市民会館の増築面積			0	587		
	ウ							
	エ							
	オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市民会館の再整備（大規模改修工事）	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア	再整備事業進捗率			6.9	100		
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市民会館の再整備による芸術文化の振興	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア	芸術文化活動に興味・関心のある市民の割合			66.2	65.4		
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							

(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	1,078	202,022	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	90,058	1,016,200	0	0
		地方債	千円	0	10,000	0	0	0
		その他	千円	0	101	47,216	0	0
		一般財源	千円	0	101,237	1,265,438	0	0
	事業費計(A)	千円	0	101,237	1,265,438	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	1	1	0	0
		延べ業務時間	時間	0	500	500	0	0
		人件費計(B)	千円	0	2,101	2,032	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	103,338	1,267,470	0	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成23年3月の東日本大震災により、大ホール天井の崩落等の被害を受けたが、新耐震基準が制定される以前の建物であるため、耐震診断を実施したところ、耐震改修工事が必要との結果であった。また、設備等の老朽化も進んでいることから、震災復旧工事とともに、耐震改修工事、設備等の改修工事を実施することとした。それに加え、大・小ホール座席の拡幅や、ユニバーサルデザインを取り入れ、より使い易く、完成後20年間安心して使える施設とするため、平成24年度・25年度の継続事業で再整備事業を開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	東日本大震災以前は、老朽化に対応して、10年程度の長期改修計画を策定し、年度計画により改修工事を進めていく予定であったが、震災により施設が使えなくなったため、老朽化の改善も含めた再整備事業を実施することとした。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	座席が狭い、一階客席のスロープが緩やかなため、前の人の頭が邪魔になって舞台が見にくい、洋式トイレを増やしてほしい、音の良いホールにしてほしい等の意見が寄せられている。 上記の意見、要望に対応し、座席の拡幅、一階客席の千鳥配置、トイレの洋式化を実施した。また、音の良いホールにするため、建築音響専門のコンサルタントに監理を委託した。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 芸術文化の振興に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民会館は市が設置し、市教育委員会が管理している施設である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 利用者の意見、要望を取り入れて策定した改修計画に基づき実施するものであり、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 芸術文化の振興が出来なくなる
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 建設アドバイザーの助言により、適正な工事を実施している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最低限の経費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							